

●循環型社会の全体像に関する物質フロー指標と数値目標

※ 新たに追加した指標

指標	数値目標	目標年次	備考
資源生産性	約60万円/トン	2030年度	入口
一人当たり天然資源消費量	約11トン/人	2030年度	入口
※再生可能資源及び循環資源の投入割合	約34%	2030年度	入口・循環
入口側の循環利用率	約19%	2030年度	循環
出口側の循環利用率	約44%	2030年度	循環
最終処分量	約1,100万トン	2030年度	出口

●循環型社会の全体像に関する取組指標と数値目標

指標	数値目標	目標年次	備考
循環型社会ビジネスの市場規模	80兆円以上	2030年度	成長戦略フォロー アップ工程表
循環型社会形成に関する国民の意識・行動			
廃棄物の減量化や循環利用、グリーン購入の意識	90%	2030年度	
具体的な 3R 行動の実施率	50%	2030年度	
※循環経済への移行に関わる部門等由来の温室効果ガス排出量			
※循環経済への移行に関わる部門由来	(約343百万トン-CO ₂) (参考値)	2030年度	
廃棄物部門由来	(約29百万トン-CO ₂) (参考値)	2030年度	
※カーボンフットプリントを除いたエコロジカルフットプリント	-	-	関連：生物多様性国家戦略2023-2030

●資源循環のための事業者間連携によるライフサイクル全体での徹底的な資源循環に関する指標

指標	数値目標	目標年次	備考
素材等別のライフサイクル全体における資源循環状況			計画フォローアップに当たっては、環境経済工程表等で設定された
入口側の循環利用率	-	-	下記の品目・取組内容・
出口側の循環利用率	-	-	目標についても進捗を把
最終処分量	-	-	

			握する。 例) ・プラスチック再生利用 量倍増 ・食品ロス量半減 ・2030年時点、燃料使用 量の10%をSAFに置き換 え（航空運送事業者） ・金属リサイクル原料の 処理量倍増 ・レアメタルを含む e-scrapのリサイクル処理 量を2030年に約50万トン （2020年比5割増）に増 加 ・家庭から廃棄される衣 類の量を2030年度までに 2020年度比で25%削減 ・紙おむつの再生利用等 の実施・検討を行った 自治体の総数150自治体
バイオマスプラスチックの 導入量	約200万トン	2030年度	地球温暖化対策対策計画
リユース市場規模	－	－	
認定長期優良住宅のストッ ク数	約250万戸	2030年度	住生活基本計画

●多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現に関する指標

指標	数値目標	目標年次	備考
地域循環共生圏形成に取り 組む地方公共団体数	－	－	
※ 地域特性を活かした廃棄物 の排出抑制・循環利用の 状況			
※地域ごとの一般廃棄物 の排出量	－	－	
※地域ごとの一般廃棄物 の循環利用量・循環利 用率	－	－	
※地域ごとの一般廃棄物 の焼却量	－	－	

※1人1日当たりごみ焼却量	約580 g	2030年度	
※ 廃棄物エネルギーを外部に供給している施設の割合	46%	2027年度	廃棄物処理施設整備計画
※ 長期広域化・集約化計画を策定した都道府県の割合	100%	2027年度	

● 資源循環・廃棄物管理基盤の強靱化と着実な適正処理・環境再生の実行に関する指標

指標	数値目標	目標年次	備考
最終処分場の残余容量・残余年数			
一般廃棄物最終処分場	2020年度の水準 (22年分)を維持	2030年度	廃棄物処理施設整備計画
産業廃棄物最終処分場	2020年度の水準 (17年分)を維持	2030年度	廃棄物処理基本方針
不法投棄・不適正処理量等	－	－	
※ 産業廃棄物委託処理量に対する電子 manifests の捕捉率	75%	2030年度	
※ 災害廃棄物対策の備えに関する指標			
災害廃棄物処理計画策定率	都道府県100% 市町村100%	2030年度	
災害廃棄物に係る教育・訓練の実施率	都道府県100% 市町村60%	2030年度	
※災害廃棄物処理計画における水害の想定率	市町村60%	2030年度	

● 適正な国際資源循環体制の構築と循環産業の海外展開の推進に関する指標

指標	数値目標	目標年次	備考
※ 特定有害廃棄物等の輸出入量	－	－	
※ e-scrapの輸出入量	－	－	
※ 焼却設備、リサイクル設備、浄化槽等の輸出額	－	－	成長戦略フォローアップ 工程表